

令和7年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○相談総件数

1, 820件 (151件/月)

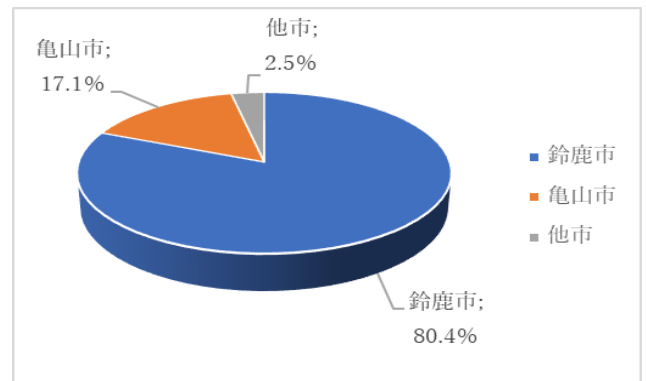
前年度比 111.0%, 181件増

○相談者の住所別

鈴鹿市 1, 464件

亀山市 311件

他市 45件

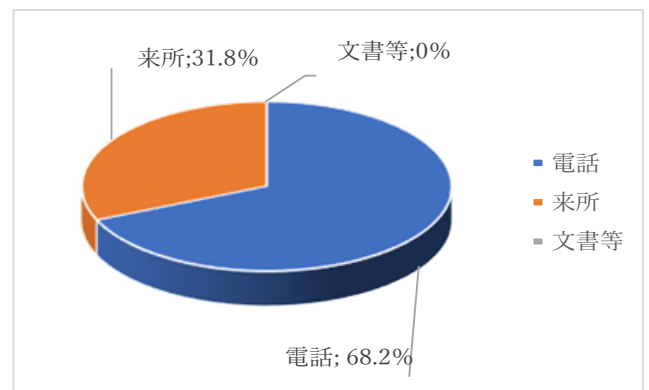


○相談方法別

電話による相談 1, 242件

来所による相談 578件

文書等による相談 0件

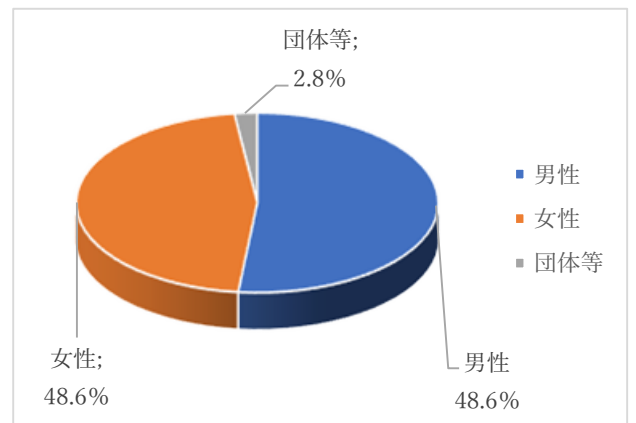


○性別

男性 885件

女性 884件

団体等 51件



○年代別

18歳未満 18件

18・19歳 16件

20歳代 134件

30歳代 138件

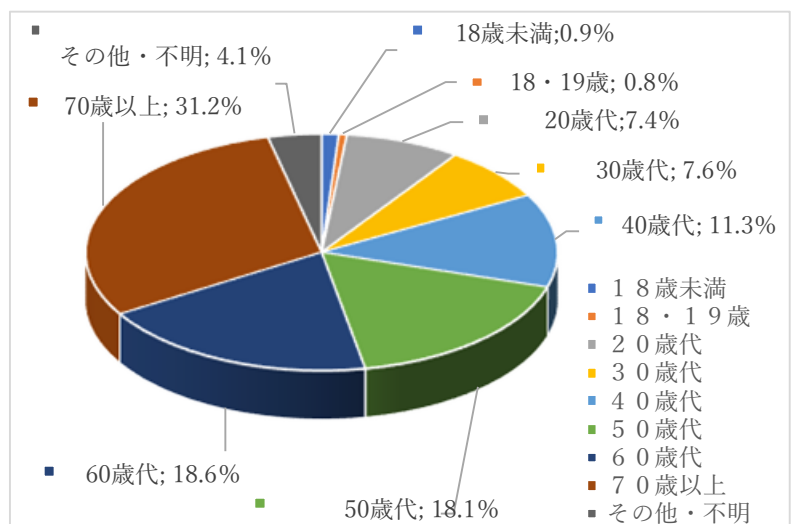
40歳代 205件

50歳代 329件

60歳代 338件

70歳以上 568件

その他・不明 74件



○弁護士相談件数

91件

2. 相談の内容

○役務サービスに関する相談：329件（前年度325件）

- ・通っていた脱毛エステ店が閉店して施術が受けられなくなったため、返金やローンの差し止めに関する相談
- ・大手通信会社の関連会社と思われるところからの高額請求に関する相談
- ・インターネットによる動画の視聴における高額請求に関する相談
- ・訪問してきた事業者と締結した光回線契約の解約に関する相談

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：204件（前年度230件）

- ・心当たりのない口座引落とし、商品や請求書に関する相談。
- ・架空請求のハガキ・封書・SMSに関する相談。
- ・知らない人からのメールにより金銭を要求されることに関する相談。
- ・身に覚えのない「+」で始まる番号からの入電に関する相談。

○化粧品等に関する相談：148件（前年度155件）

- ・SNSやテレビショッピングサイト等でのお試し価格表示のある定期購入に関する相談。
- ・期間の定めのない定期購入に係る解約手続に関する相談。

3. 啓発活動

○出前講座

公民館教室、老人会、サロン、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、幼稚園、保育園（所）、小・中学校等

鈴鹿市 55回（ 1, 200人）

亀山市 24回（ 689人）

合計 79回（ 1, 889人）